第26回大仙市農業委員会総会議事録

- 1 日時 令和7年6月11日(水) 午前9時~午前10時30分
- 2 場所 神岡農村環境改善センター
- 3 委員定数 24名
- 4 出席委員(19名)

1番 鈴木 正雄 2番 佐藤 洋悦 4番 佐藤 学 7番 齋藤 正宏 9番 玉井 慎太郎 10番 小笠原 喜悦 12番 髙川 吉昭 13番 伊藤 又工門 14番 髙橋 勝範 15番 佐藤 敏光 16番 桜田 友子 17番 渡邊 敏雄 19番 竹原 まゆみ 20番 小松 伸一 18番 泉 芳博 21番 鈴木 靖浩 22番 茂木 靖雄 23番 田村 誠市 24番 細谷 精悦

5 欠席委員(5名)

3番 佐藤 吉男 5番 信田 浩則 6番 本間 隆喜 8番 伊藤 悟 11番 長澤 信徳

6 出席した農地利用最適化推進委員(20名)

大曲地域 佐藤 栄治 佐々木 正五 井上 健一 荒川 洋男 中野 文和 草薙 節雄

西仙北地域 菅原 廣太郎 佐々木 忠永

 中仙地域
 安部
 寛治
 鈴木
 清敏
 坂本
 公紀
 髙橋
 純悦

 協和地域
 橋本
 光穂
 武藤
 秀一
 菅原
 俊一
 加藤
 末道

仙北地域 樫尾 茂樹 大野 純雄 太田地域 田口 誠毅 小松 一也

7 出席した職員

 参 与 事務局
 事務局長 藤原 千鶴

 主 幹 渡邊 高広

主 幹 黒澤 美咲

主 査 加藤 卓志

主 事 小笠原 一志 大曲分室 主 任 伊藤 圭吾 西仙北分室 主 幹 茂木 美世子 中仙分室 主 幹 藤川 美由紀 主 協和分室 査 戸島 廣憲 南外分室 主 事 本間 晃一 伊藤 久子 仙北分室 特定事務員 太田分室 主 幹 倉田 康弘

8 議事録署名委員

12番 髙川 吉昭 13番 伊藤 又右工門

おはようございます。委員及び推進委員の皆様におかれましては、公私とも大変お忙しいところ、総会にご出席いただき誠にありがとうございます。

本日は、農振除外の案件がございますので、市の農業振興課から佐藤課長と担当の 方に出席いただいております。この後、議案の説明がありますのでよろしくお願いい たします。

本日、欠席の届け出が、3番、佐藤吉男委員、5番、信田浩則委員、6番、本間隆 喜委員、8番、伊藤悟委員、11番、長澤信徳委員から出ております。

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第26回大仙市農業委員会総会を 開催いたします。 (午前9時 開会)

会長からご挨拶を頂戴いたします。

細谷精悦会長

(会長挨拶)

事務局長

ありがとうございました。会議に先立ち出席委員数をご報告させていただきます。 ただいまの出席者は19名となっております。会議規則第9条の規定による定足数に 達しており、本総会は成立していることをご報告申し上げます。

次に、前回5月13日の総会から本日までの主な業務報告を申し上げます。お手元 に配付しております第26回総会までの業務報告書をご覧願います。

5月13日に第25回農業委員会総会を、委員20名の出席をいただき、ここ神岡 農村環境改善センターにおいて開催しております。

5月23日に秋田県都市農業委員会会長会通常総会が秋田市アキタパークホテルにおいて開催され、会長と私が出席しております。

5月28日に令和7年度全国農業委員会会長大会が東京都のLINE CUBE SHIBUYAで、県選出国会議員要請集会が同じく東京都主婦会館プラザエフにおいて開催され、会長が出席しております。

その他の業務につきましては、配付いたしました資料のとおりとなっておりますので、ご確認いただきたいと存じます。以上で、主な業務報告といたします。

それでは、大仙市農業委員会会議規則により、会議の進行は会長にお願いいたします。

議長

本日の会議を開会します。

はじめに、議事録署名委員を決めたいと思いますが、当席より指名することにご異 議ございませんか。

(異議なしの声)

議長

異議なしと認め、12番、髙川吉昭委員、13番、伊藤又右エ門委員の両名を議事 録署名委員に指名いたします。

議長

議案第1号の大仙農業振興地域整備計画の変更に対する意見についてを議題とします。

事務局長

議案第1号、大仙農業振興地域整備計画の変更に対する意見について

大仙農業振興地域整備計画に係る農用地利用計画の変更について、農業振興地域の整備に関する法律施行規則第3条の2の規定に基づき、大仙市長より大仙市農業委員会会長あて諮問があったので意見を求める

令和7年6月11日 提出 大仙市農業委員会 会長 細谷 精悦

議長

農業振興課の説明を求めます。

農業振興課

皆様おはようございます。ただ今ご紹介いただきました、農業振興課の佐藤と申します。農業委員の皆様、最適化推進委員の皆様には日頃より市政発展、とりわけ農業行政の推進につきましては、多大なるご理解ご協力を賜り、この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。

本日は農業振興課からは私と藤本主任、中仙支所の農林建設課からは藤川主幹が出席しております。この後、議案の説明をさせていただきますので、どうかよろしくお願いいたします。

はじめに、今年の水田の春作業につきましては、4月以降、曇りや雨の日が多くなりましたが、気温が平年並みからやや高く経過しましたことから、田植え作業は順調に進捗し、5月25日に盛期を迎え、6月1日が終期となっております。今後も平均気温が高く推移することが見込まれていることから、生育が順調に進むよう、県やJA等、関係団体と連携して肥培管理の徹底などを呼び掛けて参ります。米価につきましては、インバウンドなどによる外食需要の増加や、昨夏の猛暑による不作などの複数の要因が重なり需給バランスが崩れたことが影響し、令和6年産米の品薄や価格高騰が現在も続いております。現在、国では備蓄米の放出や流通拡大による米の価格安定に向けた対策を行っているところでありますが、併せて米の安定供給に向け、米政策の在り方を議論する関係閣僚会議を開催するなど、昨年から続く米価上昇の原因や、政府の対応を検証して課題を洗い出し、来年の夏以降に一定の結論をまとめたうえで、令和9年度から変わる水田政策に反映させる旨の報道がされております。

また、昨年、食料・農業・農村基本法が四半世紀ぶりに改正され、令和7年4月11日には新たな指針となります食料・農業・農村基本計画が閣議決定されるなど、我が国の農業政策は大きな転換期を迎えております。本市においても、農業や農村を取り巻く環境の変化や、国・県の動向を注視しながら第5次大仙市農業振興計画の策定を進めているところであります。国内有数の米どころであり、県内随一の大豆産地である強みを活かしたブランド戦略を展開するほか、新規就農者研修施設活性化プランを策定するなど、地域の核となる若い担い手の確保や育成に向けて、研修設備やカリキュラムの充実に取り組んでまいります。

さて、本日の議案についてでありますが、議案第1号、大仙農業振興地域整備計画の変更についてであります。変更の概要といたしましては、中仙地域の除外案件、計2件でございます。計画の変更に当たりましては、大変お忙しいなか地元の農業委員や農地最適化推進委員の皆様に書面及び現地確認を頂いたほか、去る5月16日には大仙市農業振興地域整備促進協議会幹事会を開催し、計画の妥当性など様々な要件に照らし合わせて協議を行ったところであり、農用地からの除外について、やむを得ないものとの結論に至っております。この後、議案第1号の全体概要及び各事案の詳細につきましてお配りした資料をもとに、担当から説明させて頂きますので、よろしくお願いいたします。

参 与

農業振興課の藤本と申します。よろしくお願いいたします。ここからは、座ってご 説明させていただきます。

初めに、議案第1号の説明で使用する添付資料についてご説明いたします。案件説明の際は、総会議案書1ページと、右肩に議案第1号説明資料①と書かれた検討表、議案第1号説明資料②、と書かれた見取図・写真及び地形図の3つの資料の各案件ページを見比べながら説明をお聞きいただければと存じます。続いて、全体の概要についてご説明いたします。お手元の議案書1ページをご覧ください。今次、令和7年度前期分の計画変更につきまして、除外案件2件となっております。

除外する農地は田1筆、畑1筆、合計面積1,395平方メートルです。除外後の 用途につきましては、店舗兼事務所と一般住宅です。除外にあたりまして、農地法に よる転用許可の見込みを踏まえた事業計画の妥当性や、除外することによる農地の集 団化・効率化、担い手への利用集積、土地改良施設等の機能への影響、過去の土地改良事業等の実施状況といった除外6要件に基づき、総合的に判断しております。なお、除外6要件のうち地域計画達成への影響につきまして、農業委員及び推進委員の皆様にもご協力いただき、大仙市内全16地区の地域計画を令和7年3月28日に策定しております。今回の農業振興地域整備計画の変更から、本要件についても検討が必要となりましたので、ご審議くださるようお願いいたします。

それでは、各案件につきまして、中仙地域担当より、ご説明させていただきますので、よろしくご審議くださるようお願いいたします。

参 与

第1号要件について、計画会社は米の集出荷及び農業資材の販売業を営んでおりますが既存の店舗兼事務所が手狭であり、また倉庫からも離れていることから、倉庫に近い当該地及び西側隣接地に店舗兼事務所を新築し移転する計画をしたもので、店舗兼事務所及び来客用・社員用の駐車場の確保を考慮した場合、規模は妥当と判断します。 土地の選定にあたっては、既存倉庫敷地との出入りが容易であることを条件に検討しましたが周辺に農地以外の適当な土地はなく、やむを得ず選定したものであり妥当と判断します。

農地転用許可の見込みにつきまして、当該地は、おおむね10ヘクタール以上の規模の一団の農地の区域内にある農地であるため第1種農地に該当します。第1種農地は原則許可できませんが、農地法施行規則第35条第5号の規定により当該地は既存の施設の拡張で、拡張に係る部分の敷地の面積○○○平方メートルが既存の敷地面積、約○○○平方メートルの2分の1を超えないものであることから、許可要件を満たすものと判断します。

第2号要件について、当該地は長野地区の地域計画に記載されておりますが、6月中にこの地域計画から除外する予定です。

第3号要件について、当該地は南側に県道豊岡長野線を挟んで計画会社倉庫、東側、 西側、北側には一団の農地が広がっておりますが、当該地の西側は基礎調査時点から 市街化を想定し、農用地区域外となっております。当該変更により分断、孤立する農 地もなく、農用地の集団化等に影響を及ぼすおそれはないと判断します。

そのほか、第4号・第5号・第6号要件についても検討表に記載のとおり、要件を 満たすと判断します。

参与

第1号要件について、計画者は現在、妻の実家に妻と子、妻の両親、祖母と同居しておりますが、子の成長にともない手狭となってきたこと、また義両親、義祖母世代との生活スタイルの違いから当該地に住宅の新築を計画したもので、住宅及び自家用車2台の駐車スペースを考慮した場合、その規模は妥当と判断します。土地の選定にあたっては、現在居住している計画者の妻の実家の周辺を条件に検討しましたが、周辺に農地以外の適当な土地はなく、やむを得ず選定したものであり妥当と判断します。

農地転用許可の見込みにつきまして、当該地は、おおむね10ヘクタール以上の規模の一団の農地の区域内にある農地であるため、第1種農地に該当します。第1種農地は原則許可できませんが、農地法施行規則第33条第4号の規定により、申請内容が住宅その他申請に係る土地の周辺において居住する者の日常生活上必要な施設で

集落に接続して設置されるものに該当することから、許可要件を満たすと判断します。

第2号要件について、当該地は清水地区地域計画に記載されておりますが、案件1番と同じく6月中にこの地域計画から除外する予定です。

第3号要件について、当該地は北側に市道を挟んで現在居住する妻の実家のある宅地と畑、東側は隣家の宅地、南側、西側には水路、法定外道路を挟んで一団の農地が広がる端部に位置する農地であり、当該変更により分断、孤立する農地もなく、農用地の集団化等に影響を及ぼすおそれはないと判断します。

そのほか、第4号・第5号・第6号要件についても、記載のとおり要件を満たすと 判断します。

以上で案件の説明を終わります。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

議長

説明が終わりました。これより質疑を行います。質疑ございませんか。 (なしの声)

議長

質疑無いようですので、これより採決いたします。

本案件について、原案のとおり同意することに賛成の方は、挙手をお願いします。 (賛成者挙手)

議長

全員賛成ですので、本案件は原案のとおり同意することに決定しました。 ここで、農業振興課の職員が退席いたしますので暫時休憩します。

(午前9時20分 休憩)

議長

休憩前に引き続き会議を再開します。 (午前9時25分 再開) 議案第2号の農地法第3条の規定による許可申請についてを議題とします。

事務局長

議案第2号、農地法第3条の規定による許可申請について 農地法第3条の規定により、下記農地の申請があったので審議を求める

> 令和7年6月11日 提出 大仙市農業委員会 会長 細谷 精悦

議長

議案第2号、案件1番は、○○番、○○○○委員の関係議案ですが、○○委員は本 日欠席しておりますので、本案件は一般案件に繰り入れて個別の審議は省略いたしま す。

議長

議案第2号、案件2番を議題とします。本案件は、○○番、○○○○委員の関係議 案につき、会議規則第28条の規定により○○委員の退席を求めます。

(○○委員 退席)

議長

事務局の説明を求めます。

参 与

申請理由につきまして、強化法利用権設定の期間満了を機に農地法第3条で契約するものです。この案件は、農地法第3条の各要件を満たしているものと思われます。

よろしくご審議くださるようお願い申し上げます。

議長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ございませんか。 (なしの声)

議長

無いようですので、これより採決いたします。

本案件について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手)

議長

全員賛成ですので、本案件は原案のとおり許可することに決定しました。

○○番、○○委員の入場を求めます。

(○○委員 入場)

議長

次に、議案第2号、案件1番及び3番から28番までを議題とします。事務局の説明を求めます。

参与

申請理由につきまして、申請地はほ場の条件が悪いため畑として1年間耕作し、様子を見てみることから使用貸借としたものです。

参与

申請理由といたしまして、譲渡人は4年後に農業を引退する予定で農地の処分を考えておりました。そこで従兄弟である譲受人が取得を希望し、贈与に至ったものです。 譲受人は今後家庭菜園として野菜やブルーベリーなどの作付けを拡大する予定です。

参 与

申請理由といたしまして、譲渡人は市外に在住しており、相続した当該農地の管理が困難であることから農地の処分を考え、以前にも賃貸借契約を締結し耕作を行っていた譲受人に当該農地を贈与するものです。

参与

 毎に○○○○○円の支払いに加えて、米○俵の物納を行います。

申請理由といたしまして、貸付人は市外に在住しており、相続した当該農地の管理が困難であることから、近隣で耕作を行っている〇〇さんに耕作を依頼するものです。

事務局長

議案第2号につきましては、ただいまご説明いたしました5件の外に、有償所有権移転6件、無償所有権移転1件、賃貸借権設定の新規12件、使用貸借権設定の新規1件、更新2件がございます。23ページから25ページの農地法第3条の調査書をご覧ください。農地法第3条第2項各号には該当しない旨記載したもので、結果許可要件を満たしているものと考えます。よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

議長

説明が終わりました。これより質疑を行います。質疑ございませんか。 (なしの声)

議長

質疑無いようですので、これより採決いたします。

本案件について、原案のとおり決定することに賛成の方は、挙手をお願いします。 (賛成者挙手)

議長

全員賛成ですので、本案件は原案のとおり許可することに決定しました。

議長

次に、議案第3号の農地法第4条の規定による許可申請についてを議題とします。

事務局長

議案第3号、農地法第4条の規定による許可申請について 農地法第4条の規定により、下記農地の申請があったので審議を求める

> 令和7年6月11日 提出 大仙市農業委員会 会長 細谷 精悦

議長

事務局の説明を求めます。

参 与

26ページ、1番をご覧ください。位置図及び平面図は、資料の1、2ページになります。農地の所在は、若竹町 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 、地目は田、面積 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 平方メートルです。申請人は、大仙市 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 、 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ さんです。

申請理由につきまして、〇〇さんは現在長男夫婦と自宅に居住しておりますが、二男夫婦との同居を考え現在の自宅から近い申請地に住宅の建築を計画したものです。 許可基準における立地基準につきまして、申請地は都市計画法による用途地域であることから第3種農地に分類されるため、許可要件を満たしているものと判断いたしました。また、一般基準につきましても、添付書類等を勘案した結果、許可要件を満たしているものと判断いたしました。

議長

事務局の説明が終わりました。これより現地調査されました委員から補足説明をお願いたします。案件1番についてお願いします。

渡邊敏雄委員

17番、渡邊です。先般、事務局と現地の確認を行いました。当地は大曲中学校が今ある大曲工業高校から新築移転したときに、一躍宅地化が進んだ所であります。もう宅地だらけなので、農地があったことさえ忘れ去っていた地域でもありますが、ちょうど堤防の傍らにちょっと農地が残っていたということで、これについては何ら支障はないと思いますので、ご審議願います。

現地調査大変ありがとうございました。それでは、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

議長

質疑に入ります。質疑ございませんか。 (なしの声)

議長

無いようですので、これより採決いたします。 本案件について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手)

議長

全員賛成ですので、本案件は原案のとおり許可することに決定しました。

議長

次に、議案第4号の農地法第5条の規定による許可申請についてを議題とします。

事務局長

議案第4号、農地法第5条の規定による許可申請について 農地法第5条の規定により、下記農地の申請があったので審議を求める

> 令和7年6月11日 提出 大仙市農業委員会 会長 細谷 精悦

議長

事務局の説明を求めます。

参与

申請理由につきまして、譲受人は、現在妻子とアパートに居住していますが、子の成長に伴い手狭となったことから実家近くの申請地に住宅の建築を計画したものです。売買価格は総額〇〇〇〇〇円、1平方メートル当たりに割り返しますと、〇〇〇〇円になります。

許可基準における立地基準につきまして、申請地はおおむね10ヘクタール以上の規模の一団の農地にあることから第1種農地に分類されます。第1種農地は原則許可できませんが、農地法施行規則第33条第4号により、この住宅は日常生活上必要な施設で集落に接続して設置されるものであることから、許可要件を満たしているものと判断いたしました。また、一般基準につきましても添付書類等を勘案した結果、許可要件を満たしているものと判断いたしました。なお、本案件は、今年1月開催の総会において農振除外案件として同意をいただいた案件でございます。

参 与

申請理由につきまして、譲受会社は不動産業を営んでおり、申請地周辺は住環境に優れていることから住宅用地の需要に応じるため、特定建築条件付土地として宅地分譲を計画したものです。売買価格は総額〇〇〇〇〇〇〇円、1平方メートル当たり

許可基準における立地基準につきまして、申請地は大仙市役所南庁舎から500メートル以内の区域内の農地であり、第2種農地と判断され、農地法施行規則第45条第2号による許可要件を満たしているものと考えられます。また、申請地南側の転用面積の約3割の部分につきましては、10~クタール以上の一団の農地の一部であることから第1種農地と判断され、農地法施行規則第36条により、隣接する土地と一体として同一の事業の目的達成ために転用が行われるもので、総面積に占める第1種農地の割合が3分の1を超えないことから、許可要件を満たしているものと判断いたしました。また、一般基準につきましても、添付書類等を勘案した結果、許可要件を満たしているものと判断いたしました。なお、本案件は、令和5年7月開催の総会において、農振除外案件として同意をいただいた案件でございます。

参 与

申請理由につきましては、砂利採取のための一時転用で、砂利採取場及び表土置場として使用します。設定期間は許可日から1年間で、1平方メートル当たりの賃借料は、砂利採取場が〇〇〇円、表土置場が〇〇〇円となっております。許可基準における立地基準につきましては、申請地は農用地区域内にあることから原則許可できませんが、例外として農地法施行令第11条第1項第1号により、一時的に砂利採取のため農地を使用するものであることから、許可基準を満たしているものと判断いたしました。また、一般基準につきましても添付書類等を勘案した結果、許可基準を満たしているものと判断いたしました。

参与

申請理由といたしまして、県の伐採事業の作業道整備工事を〇〇〇が請け負い、敷鉄板や残土等の置き場として当該地を一時転用するものです。期間は許可日から1年です。許可基準における立地基準につきまして、当該地は農振農用地区域外であり、周囲を山林に囲まれており市街化の傾向もないことに加えて、農業公共投資の対象外である集団から孤立した生産力の低い農地です。これらの理由から当該地は、甲種や第1種、第3種に該当しない第2種農地に分類されます。第2種農地は、非農地や第3種農地で代わりになる土地がない場合には許可できることとなっています。農地法施行令第11条第1項第1号により、一時的に資材置き場として農地を使用するものであることから、許可基準を満たしているものと判断いたしました。また、一般基準につきましても、添付書類等を勘案した結果、許可要件を満たしているものと判断いたしました。なお、現地につきましては去る令和7年6月4日、地区担当の佐藤吉男委員から現地を確認していただきました。佐藤委員は本日所用のため総会を欠席しておられますが、当案件については問題ないものとしてご意見をいただいております。

議長

事務局の説明が終わりました。これより現地調査されました委員から補足説明をお願いたします。案件1番についてお願いします。

佐藤敏光委員

15番、佐藤です。先週、月曜日に事務局と現地確認して参りました。住宅に挟まれて長年耕作しておらず、改良区もないような農地でありますので、事務局の説明のとおり何ら問題はないと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

議長

案件2番についてお願いします。

渡邊敏雄委員

17番、渡邊です。先般、事務局とともに現地を確認して参りました。久々に大面 積であります。1町8反5畝、2町歩に近い農地が造成されるということになります。 軒数を見てみますと約60軒を計画しているということで、いずれ町内会が発生する ことになります。実は私もしばらく耕作していた所なんですけれども、周りに宅地が 多くなってきますと、泥や藁を落とされない、しょっちゅう箒を持って歩いていなけ ればならない、という条件下で長年耕作してきました。もし懸念されるとするならば、 隣にビックやホーマックそして駐車場がありますが、この一帯は基盤整備の中にあっ た農地で農業用排水路が1本ありますが、その農業用排水路は大水で有名な福部内川 に落ちていく、たった1本の排水路であります。そこに強い雨が降って地下浸透もな く、まっすぐに流れていくとなれば農業用排水路はパンクし、その一帯は洪水状態に なることが懸念されるわけです。これは業者責任、あるいは市の責任等々あるでしょ うけれども、そういったことを前提に置きながら開発していってもらえれば市民の不 安も消えていく地域ではないか。利便性だけを追い求めて災害に対する備えを慎重に 考えた上での開発を望むものであります。この案件についての農業等々の影響という よりも、水害等の懸念だけであって、何ら周辺に影響するものではないです。自分の 意見として申し上げました。

議長

案件3番と4番についてお願いします。

玉井慎太郎 委員 9番、玉井です。6月4日に現地を確認してきました。隣接する住宅も田んぼの所有者ということもあり、事務局の説明のとおり、何ら問題のないことを確認してきましたので、よろしくご審議お願いいたします。

議長

案件5番については、3番、佐藤委員が欠席ですので報告はありません。

事務局長

現地調査大変ありがとうございました。それでは、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

議長

質疑に入ります。質疑ございませんか。 (なしの声)

議長

無いようですので、これより採決いたします。

本案件について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。 (賛成者挙手)

議長

全員賛成ですので、本案件は原案のとおり許可することに決定しました。

議長

次に、議案第5号の農用地利用集積等促進計画案に関する意見についてを議題とします。

議案第5号、農用地利用集積等促進計画案に関する意見について 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定による農用地利用集 積等促進計画案について意見を求める

> 令和7年6月11日 提出 大仙市農業委員会 会長 細谷 精悦

議長

議案第 5 号、案件 7 番から 8 番を議題とします。本案件は、 $\bigcirc\bigcirc$ 番、 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 委員の関係議案につき、会議規則第 2 8 条の規定により $\bigcirc\bigcirc$ 委員の退席を求めます。

(○○委員 退席)

議長

事務局の説明を求めます。

参与

議長

説明が終わりました。これより質疑を行います。質疑ございませんか。 (なしの声)

議長

無いようですので、これより採決いたします。

本案件について、原案のとおり決定することに賛成の方は、挙手をお願いします。 (賛成者挙手)

議長

全員賛成ですので、本案件は原案のとおり承認することに決定しました。
○○番、○○委員の入場を求めます。

(○○委員入場)

議長

次に議案第5号、案件1番から6番、9番から33番までを議題とします。 事務局の説明を求めます。

参 与

申出理由といたしまして、当該農地は昨年まで○○さんが農地中間管理事業を活用して借り入れていた農地です。この度、契約期間満了を機に○○さん夫妻は高齢により農地を手放したいと申し入れ、○○さんが購入に応じたものです。また、売買価格が低くなっておりますが、○○さんと○○さんは親戚関係にあり、登記に設定されている抵当権を抹消する費用を○○さんが負担することで両者が合意し、この金額となったものです。

参与

参 与

申出理由といたしまして、強化法利用権設定の期間満了に伴い農地中間管理事業に切り替えるものです。賃借料が低く設定されておりますが、本来の賃借料10アール当り〇〇〇〇円から、ほ場整備の償還金10アール当たり〇〇〇〇円を耕作者が負担することになったため、償還金分を差し引いた〇〇〇円が契約金額となったものです。

参 与

申出理由といたしまして、当該農地は機構関連は場整備事業新興地区内の農地で、同地区の中心経営体として経営規模拡大を図る○○さんの意向に応じた前借受人の○○○○さんが権利の移転をするものであります。

その他の案件についてご説明させていただきます。

議案第5号につきましては、ただいま説明いたしました5件のほかに、所有権移転3件、賃貸借権設定の新規21件、使用貸借権設定の新規2件がございます。今回の所有権移転における売買価格の内容につきましては、説明案件を除き10アール当たり田で〇〇〇〇〇円から〇〇〇〇〇円と幅がございます。これは、各地域のほ場の条件及び契約者双方の意向並びに実情を踏まえた妥当な契約金額と推察しております。次に、賃貸借権設定における田の賃借料の金額でありますが、説明案件を除き10アール当たり〇〇〇〇円から〇〇〇〇円と幅がございます。これは、ほ場等の条件や契約者双方の意向もあり、妥当な契約金額と推察しております。

いずれも農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第5項の各号に該当する ものと考えておりますので、よろしくご審議の上ご承認賜りますようお願い申し上げ ます。

議長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ございませんか。 (なしの声)

議長

無いようですので、これより採決いたします。 本案件について、原案のとおり決定することに賛成の方は、挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

議長

全員賛成ですので、本案件は原案のとおり承認することに決定しました。

議長

次に、議案第6号の農地法第3条目的の買受適格証明願いについてを議題とします。

事務局長

議案第6号、農地法第3条目的の買受適格証明願いについて 農地法第3条目的の買受適格証明願いが、下記農地についてあったので審議を求める

令和7年6月11日 提出 大仙市農業委員会 会長 細谷 精悦

なお、買受適格証明願いについては、今回適格者として認められた方が落札し、農地法第3条の許可申請をする際、次回の総会に諮ることなく、許可をして差し支えない旨を併せてご審議頂きますようお願い申し上げます。

議長

事務局の説明を求めます。

参 与

申出理由といたしまして、〇〇さんは当該農地を農地中間管理事業により借受けていることから、購入のため入札に参加したいと考え、入札期日前に開催される今総会での申請となったものです。議案書下段の農地法第3条調査書をご覧ください。農地

法第3条第2項各号には該当しない旨を記載したものですのでご確認願います。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

議長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑ございませんか。 (なしの声)

議長

質疑無いようですので、これより採決いたします。

議案第6号の農地法第3条目的の買受適格証明願いについては、申請者を適格者であると認め、併せてこの方が落札して当委員会へ農地法第3条許可を申請された際、証明書交付時と事情が異なると認められない時は、次回の総会に諮ることなく、直ちに農地法第3条許可をすることに賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

議長

全員賛成ですので、議案第6号の農地法第3条目的の買受適格証明願いについては、原案のとおり交付することに決定しました。

議長

次に、報告第1号の公売による落札者への農地法第3条許可についてを議題とします。

事務局長

報告第1号、公売による落札者への農地法第3条許可について 令和7年5月13日、第25回総会において、買受適格者として承認された者が、 下記により落札し農地法第3条許可申請をし、許可書を交付したので報告する

> 令和7年6月11日 提出 大仙市農業委員会 会長 細谷 精悦

議長

事務局より報告願います。

参与

54ページをご覧ください。令和7年5月13日第25回総会において、買受適格者として承認された、大仙市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇さんが、堀見内〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、地目が田、面積〇〇〇〇平方メートル1筆を、令和7年5月28日に公売により落札いたしました。落札価格は〇〇〇〇〇円で、10アール当りに割り返しますと、約〇〇〇〇〇円となっております。

令和7年5月29日に落札者の○○○○さんから農地法第3条の所有権移転許可 書の交付申請を受け、同日付で許可書を交付しましたのでご報告いたします。

議長

以上報告といたします。

議長

次に、報告第2号の地域計画に記載された農業用施設に係る転用(許可不要)の報告についてを議題とします。

事務局長

報告第2号、地域計画に記載された農業用施設に係る転用(許可不要)の報告について

下記の認定農業者から、地域計画の区域内において、農業用施設を設置したい旨の申出があり、農地法施行規則第29条第4号及び第53条第4号並びに農業振興地域の整備に関する法律第15条の2第1項の規定による許可を要しないことを通知したので、これを報告する

令和7年6月11日 提出 大仙市農業委員会 会長 細谷 精悦

議長

事務局より報告願います。

事務局

個別案件の説明に先立ちまして、地域計画に定められた農業用施設に係る転用許可等の特例についてご説明いたします。資料は議案と一緒に配布させていただきました地域計画に定められた農業用施設に係る転用許可等の特例について、になります。

令和7年4月より農地法施行規則が一部改正となり、認定農業者が設置しようとする農業用施設が周辺の農地に係る営農条件に支障を及ぼすおそれがないことを市町村又は農業委員会が認め、市町村が地域計画に当該農業用施設を記載するにあたり、当該認定農業者がその農地を転用する場合は、農地法第4条及び第5条の規定による許可を要しないこととなりました。農地法施行規則第29条第4号は農地転用における第4条のことで、第53条第4号は転用の5条のことです。合わせて農業振興地域の整備に関する法律においても農用地区域内の用途区分変更は、申出する農業用施設を整備中もしくは整備後に変更することが可能となっています。

農業委員会は、本特例が適用されると判断した場合は、検討結果通知書に転用許可を要しない旨を記載し申出者に通知することになります。

現行、農業者が2アール未満の農業用施設を設置するため農地を転用する場合は、4条許可は不要となっております。これに加えて、認定農業者が地域計画に定められた農業用施設を設置するために農地を転用する場合や転用目的で農地の権利を取得する場合は、4条・5条許可は不要となります。面積要件はありません。申出書の審査については、4条・5条申請と概ね同様です。4条・5条許可との相違点としましては、農地転用の許可不要を講じるものであること、また、許可不要やワンストップなどにおける地目変更や所有権移転登記の取扱いについては、総務省と調整を行っていないことから、検討結果通知書は許可不要を認めたことを証する書類として利用することになります。

農業委員会総会での報告につきましては、毎月の各種申請締切り(20日頃)まで に検討結果通知書を送付した案件について、翌月の農業委員会総会にてご報告いたし ます。それでは、今回の報告案件2件について、担当の分室よりご説明いたします。

参 与

申出理由といたしまして、法人の新設に伴い当該農地に乾燥調製施設の建築を計画したものです。周辺の農地に係る営農条件に支障を生ずるおそれがないか検討した結果、例外的に許可を要しない行為に該当していることを認め、申出人に農地法第4条第1項及び農地法第5条第1項の規定による許可を要しないことを通知したのでご報告いたします。

参 与

申出理由といたしまして、当該農地は申出人が耕作する○○地区機構関連は場整備事業の農地に隣接しており、効率的に利用可能なことから堆肥舎の建設を計画したものです。周辺の農地に係る営農条件に支障を生ずるおそれがないか検討した結果、例

外的に許可を要しない行為に該当していることを認め、申出人に農地法第4条第1項 及び農地法第5条第1項の規定による許可を要しないことを通知したのでご報告い たします。

議長

以上報告といたします。

議長

次に、報告第3号の農地法第6条第1項の規定(農地所有適格法人)による報告についてを議題とします。

事務局長

報告第3号、農地法第6条第1項の規定(農地所有適格法人)による報告について 下記の者から、農地法第6条第1項の規定により書類提出があったので、これを報 告する

> 令和7年6月11日 提出 大仙市農業委員会 会長 細谷 精悦

議長

事務局より報告願います。

参与

議案書の56ページから57ページをご覧ください。記載の12の法人からの報告がありました。順に読み上げるところですが、総会時間の短縮のため省略させていただきます。ご了承ください。詳細につきましては、58ページから97ページをご覧ください。

結果、全ての法人が農地所有適格法人の要件を満たしていると判断いたしました。 法人報告については以上になります。

議長

以上報告といたします。

議長

本日の日程は全て終了いたしました。 その他、事務局から何かございませんか。

事務局

その他

- (1)農業における要望調査について
- (2) 令和7年度市町村農業委員会地区別研修会の実施について
- (3) 農業委員・農地利用最適化推進委員等の公務災害補償制度について
- (4) 全国農業新聞に掲載する記事情報提供のお願い

議長

その他、委員の方々から何かありませんか。

議長

無いようですので、以上をもちまして、第26回大仙市農業委員会総会を閉会いたします。

本日は、ご苦労様でした。

(午前10時30分 閉会)

会議規則第31条第2項の規定により、ここに署名する。

令和7年6月11日

	会	長	細谷	精悦	
--	---	---	----	----	--

委員 髙川 吉昭

委員 伊藤 又右工門